

Luncheon Linguistics, 18 December, 2019

2019（令和元）年12月18日

「日本語学会第159回大会報告」

発表者：パトリシオバレラアルミロン（東京外国語大学大学院博士前期課程）

本報告では2019年11月16日、17日に名古屋学院大学で行われた、日本語学会第159回大会について報告した。まず大会の概要を説明した。大会の初日に口頭発表が49件、二日目にワークショップが4件、ポスター発表が5件行われた。ほかに、「公開シンポジウム『AIによって揺さぶられる言語理論—意味論の観点から—』」が行われた。本報告で取り上げた発表は王丹凝氏による口頭発表「南琉球宮古島旧城辺町新城方言における二重主語文と所有傾斜」である。